

資料1-2

那覇空港の総合的な調査 平成17年度の実施内容

(1) 既存ストックの有効活用方策の検討

旧タ - ミナル地区を含めたタ - ミナル地区全体の整備のあり方の検討

- ・タ - ミナル地区の施設配置案の作成（大阪航空局）

地域特性を考慮し、エプロン、旅客、貨物等タ - ミナル施設の配置について概略案を作成した。

施設や運用の改善による空港能力向上方策の検討

- ・空港能力を制約する課題の対応方策（大阪航空局）

16年度に検討した有効活用方策の処理能力向上効果について検証を行った。

(2) 抜本的な空港能力向上方策の検討

航空利用特性の分析と将来需要予測の検討

- ・地域特性を考慮した需要予測の検討（沖縄総合事務局）

地域・航空利用者特性を考慮した那覇空港の将来需要予測を実施し、月別・時間帯別旅客の推算を行うとともに、将来の航空機動向を踏まえた機材構成等の検討を行った。

地域における空港の役割と効果、住民意識等の把握

- ・那覇空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討（県）

那覇空港の果たすべき役割・将来像と空港能力の制約による影響等について検討を行った。

(3) 既存ストックの有効活用方策、抜本的な空港能力向上方策の検討の共通項目

空港能力の考え方の整理

- ・空港能力の評価指標の検討（沖縄総合事務局）

航空需要の増加に伴い低下する航空サ - ビスの程度を把握するとともに、那覇空港の航空サービス指標の評価目安を設定した。

空港能力の見極め

- ・空港能力の見極め（沖縄総合事務局、大阪航空局）

滑走路の処理能力と将来需要予測値との関係から空港能力が限界になる時期の見極めを行った。